

2024年度



外遊びを通じて子どもと関わる

プレーワーカー養成講座

実習ありの
5回連続講座

学生
無料



「早く帰らなきゃ」「宿題しなきゃ」「怒られる」「無理」
いま、社会のそこかしこから発せられる管理のための言葉に縛られ、子どもは生きづらさの中にいる。

そもそも子どもが生きるとはどういうことか。
子どもがのびのびと、生き生きと、自由であるとはどういうことか。

プレーパークは、大人からの束縛と社会全体から見張られる雰囲気から子どもが解放される場である。

プレーワーカーは、子どもの遊びを最大の価値に据え、聞こえてくる子どもの悲鳴に向き合い、社会へと訴える。

講座

講座①

場所：みやぎNPOプラザ・第1会議室（宮城野区榴ヶ岡5）
6月30日(日) または 7月9日(火)
時間：10：00～16：30

講座②

場所：みやぎNPOプラザ・第2会議室
7月7日(日) または 7月10日(水)
時間：10：00～16：30

※講座①②は休日・平日どちらかを選ぶことができます。

実習

実習①

プレーパークでのスタッフ体験です。
都合の合う1日を選ぶことができます。
場所：加瀬沼公園PP（宮城郡利府町加瀬新堤下）
7月14日(日)・7月15日(祝)・7月28日(日)・7月29日(月)
うちのどれか1日
時間：9：00～18：00

場所：十三塚公園（名取市手倉田山無番地）
7月21日(日)
時間：9：00～18：00

場所：子どもの居場所〇〇（名取市下増田丁地96-2）
好きな日
時間：10：00～18：00

実習②

場所：十三塚公園（名取市手倉田山無番地）
8月3日（土）
時間：9：00～18：00

講座

講座③

会場：みやぎNPOプラザ・第1会議室
8月10日（土）
時間：10：00～16：30

◆対象

- ・プレーパーク、児童館、放課後児童クラブ等で、外遊びを通じて子どもと関わる活動を始めたい方。
- ・上記の施設ですでに職員として関わっているけれど、さらに知識を深めたい方。
- ・講座①②はどなたでも参加できます。行政職員、議員、保護者など。

◆定員

講座①②：各回30名
実習①②：各回10名
講座③：10名

◆受講料

15,000円（5日間）
講座①②のみ単発参加可能
3,000円/日
※学生無料

全ての講座・実習へ参加の方には修了証をお渡します。

申込締切
6月20日(木)



主催：一般社団法人プレーワーカーズ
問合せ：廣川和紀 090-6459-5225
info@playworkers.org

助成：公益財団法人子ども未来支援財団
「子どもサポート基金」事業



◆申込方法
Peatixフォーム
から申し込み
ください。



Peatix




須永 力



廣川 和紀


講座①【子どもが遊ぶ場に大人がいる意味】

6/30(日) または 7/9(日) みやぎNPOプラザ・第1・2会議室

テーマ	内容	講師
子どもと遊びの社会構造	「失われた子ども勢力」 子どもは社会の一員であり、当然社会の影響を受けてきた。社会の変化が、どのように子どもの遊びを変えてきたかを考える。	須永力(ぶんちゃ)  一般社団法人プレーワーカーズ代表理事。今年35年目の長老プレーワーカー。世田谷でプレーパークとプレーワーカーの存在意義を叩き込まれ、阪神淡路大震災では被災地につくった遊び場で、遊びの大切さを長田っ子に教えられた。その後、静岡県富士山こどもの国や仙台市海岸公園冒険広場で、プレーワーカーの長として多くの仲間をつくり、彼らに支えられた。東日本大震災での子ども支援活動が現在に繋がっている。
プレーパークとは何か	「プレーパークは大人への主張である」 プレーパークをつくるのは大人である。プレーパークが大人に対して持つ意味を考える。	
プレーパークにいる大人の役割	「プレーパークは大人による子どもへの挑発である」 プレーパークをつくるのは大人である。大人はプレーパークで子どもに何をしようとしているのかを考える。	
ふりかえり	多岐渡る子どもに関わる活動の中、なぜわざわざ「遊び」を選ぶのか。対話を通じて各々の意見を掘り下げていく。	

講座②【子どもが遊ぶ場でプレーワーカーが考えていること】

7/7(日) または 7/10(水) みやぎNPOプラザ・第2会議室

テーマ	内容	講師
プレーワーカーとは何か	「プレーワーカーの姿勢」 子どもより弱く、大人より強く。よく遊びの指導者や管理者だと勘違いされるが、それとはまったく違う姿勢で子どもに関わるプレーワーカーの考えについて掘り下げる。	廣川和紀(かずき)  一般社団法人プレーワーカーズ事務局長。16歳の頃から子どもに関わる市民活動を始め、大学卒業後は遊具メーカーで働きながらプレーパークの活動も行ってきた。東日本大震災後プレーワーカーとして働き始め、現在は県内外のプレーワークやプレーリーダー研修の講師を務める。
プレーワーカーのスキル①	「子どもとの距離感とリフレクション」 プレーワーカーは誰でもなれるが誰にでも務まるものではない。専門職として遊びの場に立つプレーワーカーの技術と視点を言語化する。	
プレーワーカーのスキル②	「環境設定とリスクマネジメント」 遊びが広がる環境設定と危険管理のバランスを考える。なぜプレーパークは作り続けていくことに意味があるのか。	
ふりかえり&実習ガイダンス	これまでの子どもとの関わり、経験を棚卸し、2日間の講座と照らし合わせる。その上で、実習に向けて準備をする。	

実習①【プレーパークでのスタッフ体験】

場所	加瀬沼公園	十三塚公園	子どもの居場所〇〇
日程	7/14日・7/15(祝)・7/28(日)・7/29(月)のどれか1日	7/21(日)	受講者希望日

実習②【プレーパーク運営体験】

8/3(土) 十三塚公園

プレーパーク実習	受講者が1日プレーパークを開催する。 ・環境設定 ・リスクマネジメント ・子どもとの関わり ・大人との関わりなどについて学べます。	ぶんちゃ かずき
----------	---	-------------

◆申込方法

Peatixフォームから申し込みください。

講座③【グループディスカッション】

8/10(土) NPOプラザ第1会議室

グループディスカッション	講座全体を通してのふりかえり 参加者交流	ぶんちゃ かずき
--------------	-------------------------	-------------

